

BEYOND

境界を越えてゆく

BORDERS



名港海運株式会社 採用サイト

<https://www.meiko-trans.co.jp/recruit>



Beyond Borders

境界を越えてゆく
海・陸・空のプロフェッショナルたち



日本のモノづくりを支え、世界経済の玄関口でもある名古屋港。
その中心で物流を担うのが「名港海運」です。

工業製品も、雑貨も、食料品も、
すべてが私たちの手を経て人々のもとへ届く。
運ぶのはモノだけではなく、その先にある生活や夢、未来そのものです。

想いを託されたモノを確実に届け、価値が生まれる瞬間を支える。
その誇りと責任を胸に、名港海運は歩み続けます。

いま物流は大きな変革期。
テクノロジー、多様な人材、そして現場で培った力を融合させ、
次代のスタンダードを創り出す。
昨日までの常識を打ち破り、明日の当たり前を創り出す。
変化を恐れず、挑戦をやめない。

名港海運は、重要な社会基盤である港という公器を預かる使命を胸に、
新しい物流を提案します。

Beyond Borders 境界を越えてゆく

01

港湾物流第1部



THE TERMINAL PROFESSIONALS

世界を結ぶ玄関口で、 物流の大動脈を担う

Mission

巨大な貨物船を任される、その責任とスケール

港湾物流第1部は、名港海運の事業の中核部門です。コンテナの積み卸しは、ひとつのミスが重大な事故につながる緊張感が常に伴うため、私たちは「ナカマ」と呼ばれる作業員たちを指揮し、安全と効率を徹底しています。300メートルを超える巨大な貨物船を任される責任は計り知れません。数千本のコンテナが積み卸される光景は、まさに桁違いのスケール。昼夜を問わず稼働する港は世界と日本を繋いでいます。天候に左右されながらも、物流の大動脈を動かし続ける。それが私たちの使命です。

Value

技術と人の融合、進化し続ける港

港湾の仕事は、常に変化の最前線にあります。名古屋港では日本初の無人荷役機器が稼働するなど、コンテナの積み卸し作業は自動化が進んでいます。新しい技術の導入により、物流はより速く、安全に、大規模に進化していくのです。そして世界中の船員とかわる英語力をはじめとするヒューマンスキルも大切な要素です。この大きな変革に、自分自身が主体的に関わり、未来を動かしていけること。それぞれが、港で働く最大の醍醐味です。



02

物流センター統括部



THE LOGISTICS PROFESSIONALS

現場の改善力が生む、 一歩先の物流価値

Mission

流れを繋ぐ、それが物流の使命

物流センターは単なる保管場所ではありません。「保管」に加え、貨物の荷崩れや破損防止における「包装・梱包」、付帯作業を含めた「流通加工」などの機能も有し、国内外から集まった貨物を適切な形態で各地へ送り出す物流の心臓部です。一つひとつの工程には、日本のモノづくりを世界中に繋ぐ責任と、人々の暮らしを支える使命があります。私たちの役割により物流は滞らない。決して目立つことはなくても、その誇りを胸に挑み続けます。

Value

挑戦をする、その文化が未来を拓く

物流センターには、従業員誰もが改善の声をあげられる風土があります。たとえば、紙の指示書をタブレットに置き換えた仕組みも、現場からの提案で実現しました。小さな改善の積み重ねが業務効率を飛躍的に高め、物流はより正確に、より速くなります。この自発的な挑戦を続ける文化が物流現場を強くし、やがて物流全体の未来を変えていきます。





03

航空貨物部

THE AIR CARGO PROFESSIONALS

迅速に世界を結び、 時間を価値に変える

Mission

速さを武器に、価値を守り抜く

航空貨物部は、納期が迫る貨物や高い付加価値を持つ貨物を、確実に届ける物流の最後の砦です。時間との戦いの中で結果を出すことは、顧客のビジネスと社会の未来を左右します。ときには、世界最大級の貨物機であるアントノフの積載現場に立ち会うなど、日常では味わえない規模の仕事も担うこともあります。日々の現場では、刻一刻と変わるスケジュールに即応し、一瞬の判断で流れをつくる緊張感の中、私たちは今日も未来を動かし続けています。

Value

スピードを超えて、新たな物流を描く

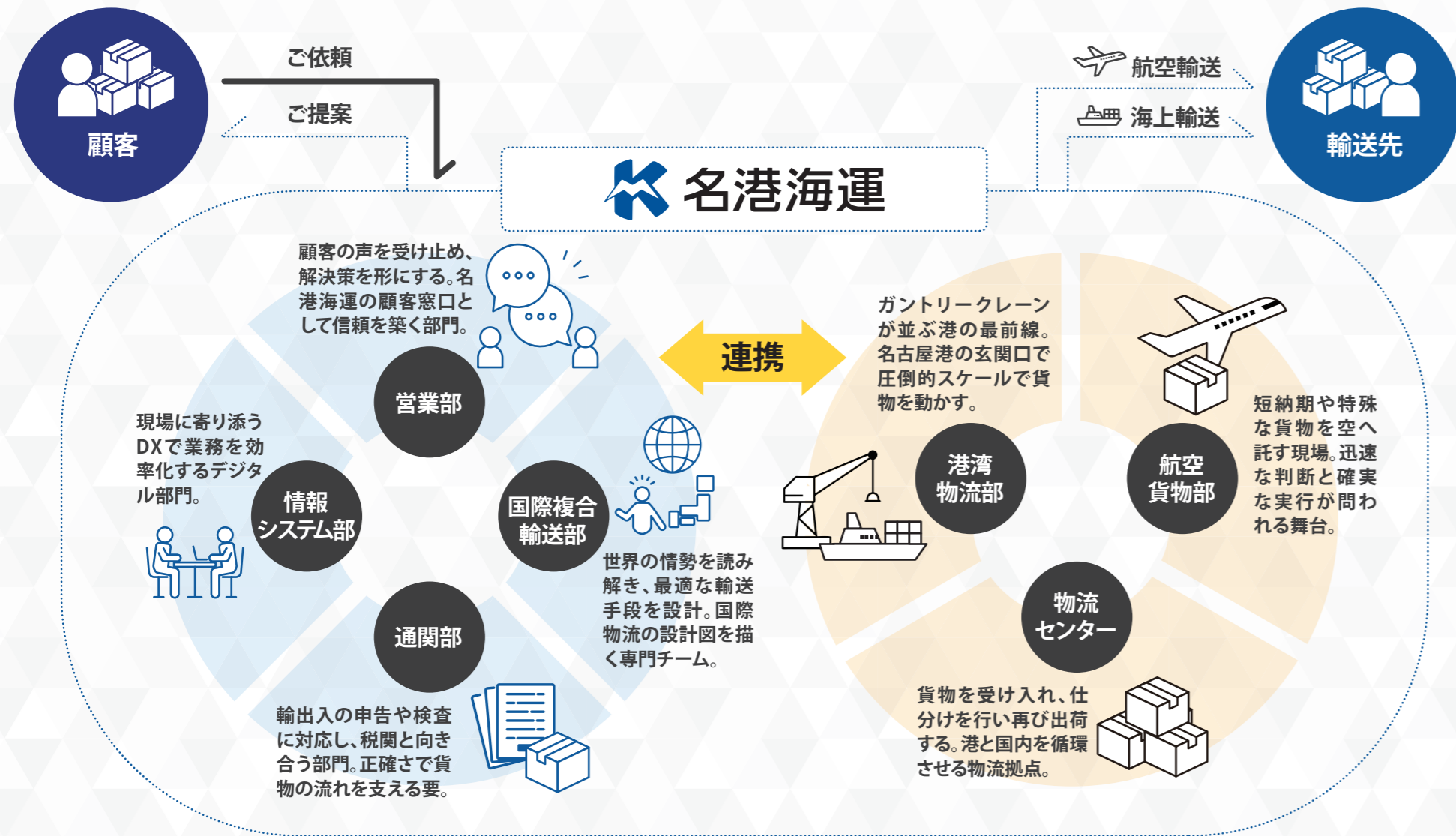
航空貨物の価値は「速さ」だけにとどまりません。突発的な依頼に対応する柔軟性や、現場と営業が一体となった連携力はもちろんのこと、デジタル化や自動化によって進化する新しい空の物流を経験できることがこの部門の魅力です。将来、AIによる需要予測や次世代の輸送機・ドローン活用が当たり前になるかもしれない。その変化の最前線に立っているのが私たちです。



OUR FIELDS

活躍できるフィールド

名港海運の仕事は、海・陸・空のあらゆる物流に広がっています。営業や現場のオペレーションなど、多彩なフィールドがあるからこそ、自分に合った仕事に取り組むことができ、世界へ挑戦するやりがいを感じながら、一人ひとりが成長することができます。



OTHER WORKS

現場を支える職種たち

「海上輸送」「陸上輸送」「航空輸送」。名港海運のトータルロジスティクスに欠かすことができない業務を担う主要職種をご紹介します。

営業部

海外と顧客を結ぶ フロントランナー

営業部は、名港海運の最前線として顧客の声を受け止め、最適な物流ソリューションを描き出す部門です。見積・提案から受注後のオペレーションまで一貫して担い、社内外をつなぐ司令塔の役割を果たします。顧客から寄せられる多様な要望を形に変え、確かな輸送へと結びつけることが営業の使命。信頼関係と対応力で顧客の期待を超え、名古屋港から世界へ広がるビジネスを力強く支えています。会社の顔として、名港海運の可能性を切り拓くフロントランナーです。



国際複合輸送部

海上輸送を操る グローバルエキスパート

国際複合輸送部は、名古屋港を起点に世界各地を結ぶ海上輸送の専門部門です。船舶手配から海外到着後の通関・配送まで一貫して担い、顧客のサプライチェーンを守り抜くことが最大の使命。遅延やトラブルが許されない舞台上、数十通りに及ぶ航路の中から最適解を選び抜く高度な専門性が求められます。巨大な設備輸送から産業の基盤を支える部品輸送まで、幅広く対応可能な国際物流のコンサルタントとして、確かな判断力と提案力で未来を築いています。



通関部

国際取引を守る ゲートキーパー

通関部は、輸出入に必要な通関手続きを担う専門部門です。営業部から依頼を受け、税関に対して貨物の内容を正確に申告し、必要に応じて検査に立ち会います。輸出入禁止品や条約規制品を扱う際には法知識と判断力が不可欠。わずかな分類の違いが税額や輸出入の可否を左右します。「正確さ」と「スピード」を両立させることが最大の使命。近年はDX化を進め、AIを駆使した自動処理で業務を効率化。安全と信頼を支えるゲートキーパーとして、名港海運の国際物流を守り続けています。



情報システム部

全社を支える デジタルエンジン

RPAやシステム開発を通じ、これまで人が担っていた煩雑な業務を自動化し、社員の負担を大幅に低減。日々のデータ処理や在庫管理の効率を高め、業務を仕組み化することで、生産性向上に貢献しています。また、共通ツールの保守・サポートで社内インフラを整えるとともに、ICT教育による従業員のデジタルリテラシー向上を推進しています。現場に寄り添い、新しい挑戦を通じて、会社全体を進化させる原動力、いわば名港海運のデジタルエンジンです。

